

# 第13回

# 京 浜 慢 性 期 医 療 研 究 会

会 期 2016年10月15日(土)

会 場 日本工学院専門学校蒲田キャンパス ③号館 B1F 大講義室

(蒲田駅西口) 東京都大田区西蒲田5-23-22

プログラム(予定)

総合司会: 新京浜病院院長 有馬 陽一

## 特別講演

### 「認知症のBPSDを出来るだけ誘発しないこと」

医療法人大誠会理事長 社会福祉法人久仁会理事長 群馬県認知症疾患医療センター内田病院センター長 慢性期医療協会常任理事  
田中 志子 先生

平成3年帝京大学卒、群馬大学第一内科入局。県内の病院で研修を重ね、現在は認知症を主とした老年医学を専門としている。また日本で始めて医師として認知症介護指導者となり、地域や医療関係者への認知症啓発活動に努めている。



「私が目指すものは『ハッピーエンド・オブ・ライフ』です。『ハッピー』という言葉こそ、『エンド・オブ・ライフ』に使うべきだと思っています」——。田中志子先生は、認知症患者さんと向き合って約20年。「自分の人生、家族の人生、患者さんやご家族の人生が、私たちのまちで続いてほしい。地域の患者さんと長く関わっていけることが慢性期医療の魅力です」と話します。

## 事例紹介

1. 認知症身体拘束から解放された症例: 看護師 峯村 祐子
2. 医療保護入院を繰り返していた患者への関わり方: 看護師 竹谷 ユキ子
3. 当院に来るまでレビー小体型か? 前頭側型認知症か? 鑑別ができなかったために、長期間介護に難渋された2症例: 看護師 根間 麗湖

## ディスカッション

座長: 前蒲田医師会会長 南雲医院院長 南雲晃彦先生  
田中志子先生、熊谷頼佳先生、担当病棟看護師  
認知症の看護・介護・医療・リハビリテーションを症例を議題にディスカッション

後援: 一般社団法人 蒲田医師会

京浜病院  新京浜病院

メインテーマ

「大田区の看護・介護・医療の技術向上を目指して」

慢性期医療が認知症地域包括ケアを推進する

## 記

日 時 平成28年10月15日(土) 14:30~17:00  
開場/受付 14:00~

場 所 日本工学院専門学校蒲田キャンパス  
③号館 B1F 大講義室 (蒲田駅西口)  
東京都大田区西蒲田5-23-22

定 員 約500名

参加費 無 料

参加対象者 医師、看護師、介護職員、その他医療介護に係わる方  
(但し、事前申し込みの方に限らせていただきます)

主 催 医療法人社団京浜会 京浜病院・新京浜病院

代表世話人 京浜病院院長 熊谷 頼佳

担 当 者 京浜病院 総務課 横山・橋本

HPアドレス <http://www.keihin-hospital.jp/>

問い合わせ E-mail [soumu@keihin-hospital.jp](mailto:soumu@keihin-hospital.jp)

FAX 03-3745-1601

TEL 03-3741-6721

※当日は、駐車場・駐輪場がございませんので公共交通機関をご利用ください

※会場の都合により、会場での飲食は禁止されているためお弁当・お飲物のご用意はできませんのであらかじめご承知ください。